

令和 8 年 度

高 知 県 文 化 賞 受 賞 者
事 績 概 要

高 知 県

つ ぶ き ふ さ こ 都 築 房 子 氏

77歳

現住所

南国市



1 経歴の概要

昭和47年	3月	高知大学教育学部特設美術課程卒業
昭和47年	4月～	土佐中学校・高等学校非常勤講師 (～平成11年3月)
平成2年	4月～	高知福祉専門学校非常勤講師 (～令和5年3月)
平成16年	4月～	高知大学教育学部非常勤講師 (～平成19年3月)
平成24年	4月～	香美市立美術館館長 (～令和8年3月)
平成31年	4月～	高知学園大学非常勤講師 (～令和7年9月)

2 社会における主な活動内容

昭和53年	4月～	造形教室主宰 (現在に至る)
令和3年	7月～	高知県文化芸術振興ビジョン評価委員 (～令和8年3月)
令和4年	6月～	高知県文化施設事業評価委員 (～令和7年3月)
令和7年	8月～	高知県展理事長 (現在に至る)
令和8年	10月～	高知県文化財保護審議会委員 (現在に至る)

3 受賞歴

昭和44年	第23回高知県展特選
昭和46年	第25回高知県展特選
昭和53年	第32回高知県展特選（無鑑査となる）
平成9年	国際丹南アートフェスティバル大賞（立体作品）
平成18年	高知県展功労者表彰

4 事績の概要

氏は、長年にわたって造形教室を主宰し後進の育成に努めるとともに、自らも研鑽を重ね、高知県展をはじめ県内外の展覧会へ数々の作品を出展されてきた。

また、香美市立美術館長として14年に及ぶ在任期間中、美術館の企画運営に尽力、令和7年には高知県展理事長に就任された。

以上のことから、氏の活動は本県の芸術文化の発展に寄与しており、その功績は大きい。

やまもと やすひろ
山 本 恭 弘 氏

83歳

現住所

高知市



1 経歴の概要

昭和37年 4月～ 大和ハウス工業株式会社
(～昭和43年10月)
昭和44年 3月 大阪工業大学短期大学部建築科卒業
昭和46年 4月～ 株式会社MA設計事務所
(～昭和49年11月)
昭和50年 3月～ 聖建築研究所主宰
(現在に至る)

2 社会における主な活動内容

平成 2年 6月～ 日本建築士会連合会 会誌『建築士』編集委員
(～平成6年5月)
平成 3年 4年～ 高知県建築士会 青年部会長
(～平成7年3月)
平成 6年 4月～ 日本建築学会 会誌『建築雑誌』編集委員
(～平成8年3月)
平成20年 4月～ 広島工業大学非常勤講師
(～平成24年3月)
平成24年 4月～ 香美市立美術館運営審議会委員
(～平成30年3月)
令和 2年 4月～ 土佐山田・あーとリンク実行委員長
(現在に至る)

3 受賞歴

平成 2 年	第 1 回木造住宅デザインコンクール最優秀賞建設大臣賞 (木造文化継承の提案)
平成 1 1 年	第 1 0 回薨賞金賞建設大臣賞 (東山邸・瓦の新しいデザインの考案と実践)
平成 1 2 年	第 7 回公共建築賞特別賞 (葉山村酒蔵ホール・酒蔵改修の先駆)
平成 1 3 年	第 1 1 回薨賞金賞国土交通大臣賞 (双軸の舎・瓦の新しいデザインの考案と実践)
平成 1 8 年	第 2 回木の建築賞大賞 (土佐山田の舎・木造文化継承の提案と実践)
平成 2 0 年	第 7 回高知県木の文化賞 (JA土佐れいほく本山支所・木造建築の新しいデザイン)
平成 2 0 年	デダロミノッセ国際建築賞入選 (風笛の舎・環境を活かした建築デザイン)
平成 2 2 年	第 1 2 回公共建築賞優秀賞 (絵金蔵・木造建築改修の技法)
平成 2 6 年	2 0 1 4 年度グッドデザイン賞 (佐喜浜箱舟・継続的な関わりによる空間構成)
平成 3 0 年	2 0 1 8 年度グッドデザイン賞 (四万十の舎・歴史資源を尊重した課題解決の提案)
令和 3 年	2 0 2 1 年度グッドデザイン賞 (土佐市複合文化施設つな一で・地域の特性を解釈し、居場所を設けることで市民活動を‘融合’する) MARU。Architectureと共同設計
令和 5 年	第 3 9 回高知市都市美デザイン賞 (公園を臨む家・地域の景観に配慮した計画)

その他多数受賞

4 事績の概要

氏は、長年にわたり、県内各地で伝統木造建築と古民家の改修・活用に取り組み、地域の歴史や生活文化、職人技術を読み解きながら、古い建物を現代の暮らしや公共的な活動に生かす建築手法を築いてこられた。これらは地域の枠を超え、全国的に高く評価されており、多くの賞を受賞されている。

以上のことから、氏の活動は本県の様々な公共施設等の再生を通じ、本県の建築文化や伝統文化、地域文化の向上に貢献しており、その功績は大きい。